

2 目標達成計画

作成日: 平成 21年 10月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	相談・苦情・意見などの受付体制は整備されているが、家族は言いにくい立場だと思うので、家族の意見を集める機会を設ける工夫が必要。	家族の意見を集い運営に活かす	夏祭り、敬老会などのイベントや行事の案内通知を継続していくこと。面会時などには相談、意見を聞き対処していく。	実施
2	12	重度化、終末期の支援できる範囲、退居となる場合の条件などの明確化が必要。	重度化や終末期における支援方針の明確化	グループホームの概念に沿っての支援を基本として取り組み、共同生活の継続が可能な範囲まで支援させていただく。	実施
3	13	年2回の避難訓練を実施しているが、夜間帯は1人の職員で対応していることから、避難にも困難な状況が予想されるため、対策が必要。	夜間を想定した避難訓練	利用者の実情に合わせ、年2回の内1回は夜間帯を想定し、避難訓練を実施していく。又、消防署職員に運営推進会議に参加していただき、アドバイスをいただけるようお願いしていく。	1～3ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。